



地域研究集会

第 21 回広島湾研究集会 瀬戸内法の再改正と広島の水産業

日 時：2022 年 12 月 16 日（金） 13：00～17：00

場 所：東広島市鏡山一丁目 4 番 5 号 広島大学ミライクリエ大会議室（+Web ハイブリッド開催）

（参加希望者は 12 月 2 日までに登録をお願いします <https://forms.gle/bAvxATCUtWN39Ai59>）

コンビナー：富山 毅（広大院統合生命科），阿保勝之（水産機構技術研），柳川 建（広島総研水海技セ），高橋 暁（産総研地質情報），山本民次（流域圏環境再生セ）

共 催：広島大学大学院統合生命科学研究科

後 援：流域圏環境再生センター

挨拶：木村伸吾（一般社団法人水産海洋学会長）

13：00～13：05

趣旨説明：富山 毅（広大院統合生命科）

13：05～13：10

話 題

座 長：高橋 暁（産総研地質情報）

1. 広島湾環境のジレンマ：貧栄養化と底泥に残る富栄養化の遺産
山本民次（流域圏環境再生セ）

13：10～13：50

2. 岸沖の視点で見た瀬戸内海の栄養塩環境の変化
梅原 亮（広島大学環境安全セ）

13：50～14：20

－休 憩－

14：20～14：30

座 長：柳川 建（広島総研水海技セ）

3. 栄養塩環境の変化と生態系の応答に関する国内外の知見
鬼塚 剛（水産機構技術研）

14：30～15：00

4. 栄養塩管理方策の検討と問題点
阿保勝之（水産機構技術研）

15：00～15：30

5. 瀬戸内海の水産資源の動向と今後の資源評価
河野悌昌（水産機構資源研）

15：30～16：00

－休 憩－

16：00～16：10

総合討論

16：10～17：00

座 長：山本民次（流域圏環境再生セ）

開催趣旨：

2021 年 6 月に瀬戸内海環境保全特別措置法（瀬戸内法）が再改正された。瀬戸内海では貧栄養化が顕著なことから、水産資源の持続的な利用の確保のため、栄養塩については削減から管理へと方向転換された。また、藻場や干潟の保全・造成などを含め、湾灘ごとにきめ細やかな対策を各府県が取りまとめることとなっている。府県計画は科学的知見に基づいて策定することが原則であり、複雑系である海の生態系に対して、行政機関と研究機関が連携してより良い計画に収斂させることが重要である。そこで、本研究集会では、広島湾あるいは瀬戸内海の環境と水産の問題に取り組む研究者からさまざまなアイデアを出して戴くとともに、行政、市民を交えた意見交換の場とすることを目的とする。